

## 9月7日 ガバナー公式訪問卓話



国際ロータリー第2770地区ガバナー  
大貫等 様（上尾西ロータリークラブ）

国際協議会が1月15～21日、サンディエゴで、539名の参加で開催

**イアン・HS・ライズリー 氏** 1946年生まれ 71才  
オーストラリア メルボルン郊外 サンドリングラムRC所属 公認会計士として地域や  
国際的ビジネスに関するアドバイスをしている

ロータリーを知った理由？

私立病院のCEO(最高経営責任者)のロータリアンから、今度クラブの昼例会で卓話をしてほしいと依頼された。そのうち「今度サンドリングラムに新しいクラブを創るのでその「加盟認証」に是非参加してください」と誘われた。その準備会合が開かれたが初回には出席しなかった。しかし2回目の会合に出席した時に、サンドリングラムのビジネスエリート達20名がいて、彼は「何という顔ぶれだろう」と思ったそうです。そして「加盟認証」をうけた。

ロータリアンとしての実感を味わった瞬間は？

34歳の時にクラブ会長をしたが、その時のPETSに参加した時に、業界の重鎮、実力者が列席していたのを見たとき

なぜロータリーに入会して何が良かったか？

- ① **友情**が育める 多くの出会いがあり、そこには友情が芽生える
- ② **個人的な成長** 人前で話すことが不得意  
好意的な環境(ロータリアンはちょっと間違えても責めたりしない)で

のスピーチや、会議の進行、意欲の喚起など様々な条件の中、  
経験を得ることが出来る。

- ③ **ビジネスの成長**   ロータリークラブには他の職業の  
人達がいてほしいと思う。自分の今までの友達は業界   の人達ばかり  
だから。
- ④ **世界に変化をもたらすチャンス**があること  
ポリオを無くしてほしいと頼まれても、一人の力は限られ   ている。しかし  
120万人の志を同じくするロータリアンやビルゲイツさん、メリ  
ンダ夫人など、目標を達成する為に寄付してくれれば撲滅可  
能になる。

## 国際協議会講演

**ライズリー氏**は自分が20年前に国際協議会に出席した時のことから話し始める。「ロ  
ータリーが奉仕することで変化することを目の当たりし、人々の人生に変化をもたら  
せることを知った」

「変化をもたらす」という表現をロータリーでは良く耳にする。世界に、地域社会に、  
人々の人生に「変化をもたらす」ために私たちはここに集まった。

2017～18年度RIテーマは「ロータリー:変化をもたらす」(Making a  
Difference)を発表。

**3つの優先項目** (\*クラブのサポートと強化\* 人道的奉仕の増加と重点化\* 公共イ  
メージと認知度と向上)を念頭においての活動は、自ずとテーマに沿うものとなる。そ  
して優先事項をまとめるとひとつの言葉になる。それは「**持続可能性**」です。(奉仕事  
業が一人立ちし展開してゆく)

環境への取り組みが進んでいるオーストラリアらしく、地球環境に話を広げ「**地球の  
持続可能性**」とし、7月1日～来年の4月22日の「**アースディ**」までに「会員一人ひとり  
が最低1本の木を植えましょう」とし、二酸化炭素を削減し、地球温暖化のスピードを  
遅らせるとしました。

一方3つの優先事項に沿って話が進みます。

- ① 「クラブのサポートと強化」では、

「男女会員のバランス」と「ロータリアンの平均年齢」をあげた。  
男女会員のアンバランスでは、今のスピードだと50%になるまでに30年以上かかってしまう。またメンバーの中には拒否する人もいるが、女性の入会で**クラブの多様性**が広がり、**女性の目線からの奉仕**が出来る、そして何より元気の良いクラブになる。  
**GE539名中103名が女性**である、これは**19%**にあたり平均、世界の縮図となった。  
(日本は34名中1名、3%)

次に年齢構成ですが、**40歳以下は5% (35歳以下4%)**、大半は60歳以上。  
10年20年後、ロータリーはどうなっているかを真剣に考えなければいけない。  
14歳でインターアクトクラブに入会し、奉仕活動でロータリーの素晴らしさを知った  
**シリコンバレーロータリーEクラブの現在28歳のミッティー・チャン氏は**

「このままだと**ロータリーを知らない世代が増え衰退**してしまう」

「あなたは**変化を起こす人**になりたいですか？  
それとも**変化の犠牲者**になりたいですか？」

「いつも**同じことをして安心**していたいですか？  
安心できるところから出て、**未来のニーズに合わせたことをしたい**ですか？」  
と問いかけました。

②「人道的奉仕の増加と重点化」に関してでは

**6つの重点分野**( \* 平和と紛争予防／紛争解決  
\* 疾病予防と治療  
\* 水と衛生  
\* 母子の健康  
\* 基本的教育と識字率向上  
\* 経済と地域社会の発展)

における活動の**持続可能性を高める**ことが、影響力を大きくすることが出来ると言います。

元RI理事の**アウフランク氏**は「1つ目は、**地域のニーズを満たす**プロジェクトであること。2つ目は、**ニーズがある人達を巻き込み一緒に活動**する。3つ目は、**政府や同じ目的を持った人達や団体と協力体制を組む**。協力体制を取るにより持続可能なものとなる。受益者が多ければ多いほど、**地域社会が関心を持ち、メディアの関心も高まります。**」

財団管理委員長エレクトのポール・ネツェル氏は言います。  
ロータリーの奉仕活動を行う上で、ロータリー財団はとても重要

です。「初めてポリオ発症ゼロになる年度になる。引き続き監視体制の強化、資金、サポートが必要

性です」そして「ポリオが撲滅した後に、ロータリーは何をするか、私たちは考えて行かなければならない」と述べた。

### ③「公共イメージと認知度の向上」について

「ロータリークラブセントラル」や「ロータリーショーケース」の活用で具体的な数字が出て来る、ポリオの寄付状況が明示出来る、ということが公共イメージと認知度の向上にも繋がるとしました。

しかし一方で、マーケティングを専門とした、ナイロビラビンドン・ロータリークラブのオーティン氏は、

「2015年に15カ国での調査では、ロータリーの公共イメージ、認知度は良くなっているものの、組織、ポリオへの取り組み、青少年プログラムなど、知らない人がほとんどであり、認知はしているが間違っ

た理解をしている人も多くいた」と指摘。「私たちはロータリーに関わりたいと思わせるようなロータリーストーリーを伝えていく必要がある」と。

公共イメージと認知度の向上のためのキャンペーン「People Of Action (世界を変える行動人)」を発表。

地区、クラブで一貫性、継続性を持ってロータリーブランドを発信していくことが大切」と訴えました。

元RI会長のウィリアム・ボイド氏は、ロータリーが大切に守っていかなければならない「親睦と奉仕」「独自性」を語りました。

「ロータリーは様々な人々から構成されており、多様な経験、知識を生かし様々な奉仕活動を行っている。ポリオが良い例だ。ロータリアンは辛抱強く情熱的だ。同じ志を持った人々が、友人となって集まり、そこから奉仕活動が生まれる」

「私たちは奉仕がしたいから活動しているのであって、報いを求めているから奉仕をしているわけではない」

私たちの**価値観、原則を結束する**からこそ、**ロータリー**は**とても特別な存在**なわけです。

**マザーテレサの言葉**を引用し、「**この世の一番の悲劇は、無関心です**」関心を持ち、活動することはロータリアンにとって大切なことです。

**奉仕、友情、誠実、信頼性、関心**は私たちの価値観であり、それを実行することがロータリーのユニークさです。」(**ハゲタカと少女**)

最後に**ライズリーRI会長**は、「私たちには**記録もチャンピオンシップもない**。私たちが求めていることはもっと**シンプルなもの**。それは**世界の人々、そして私たち自身の人生に変化をもたらすこと**です。ロータリーは**世界を変える行動人**であるということです。」

地区活動方針      ロータリー:変化をもたらす

地区運営方針      新たな行動 新たな感動

私たちは生きているだけでも、誰かに影響を与えています。増してや奉仕することにより、相手の人生を変えることが出来る、同時に自分も変えることが出来る。しかもお互いに良い方向に変えることが出来ます。つまり良い方向に変化をもたらすことが出来ます。

しかし、**変化をもたらそうとして行う奉仕活動が、毎回同じ(マナー化やニーズに合わない)**だとしたら変化をもたらすことが出来るのだろうか。初めての会員やはじめての対象者には変化をもたらせることは出来るかも知れませんが、その**波及効果は段々減少する**のではないのでしょうか。開催エリアを変えて行くとすれば達成できると思いますが、地元地域での奉仕活動では、なかなか限界があるのではないのでしょうか。

ましてや会員からも

「**いつも同じ**だなあ……」とか

「いつもあの人が仕切っていて自分の出番がないあ……」

「いつになったら自分がやりたい奉仕活動が出来るのかなあ……」など

の不満が出て来る前に、全員で意見を出し合って頂きたいと思います。

結論としてそれでよければ問題ないのですが、意見があるようでしたらそこから話題を広げて戴きたいと思います。そして新しい意見も取り入れ、新しい奉仕活動にチャレンジして頂きたいと願います。そんなこと出来ないというのであれば、2割でも3割でも変えて行ってもらえれば、更なる波及効果が得られるはずです。正に「ロータリー:変化をもたらす」です。

車で例えるならば……

何故そのようにしてみたら、とお話するのは十二分にご理解いただけると思います。

- ① 新たなことをするために、全会員が協力し団結し、計画立案し、準備し、実行に移す、これはクラブの活性化に繋がる。
- ② 新会員の意見を取り入れ、彼らを取り込むことにより、退会の防止になる。
- ③ 何より「遣り甲斐」「達成感」「満足感」、そして「心地よい疲労感」。そこには新しい感動があるはずです。

新しい発想、画期的なアイデアを、是非クラブの奉仕活動にプラスしてみてはいかがでしょうか。

「新たな行動 新たな感動」 宜しく願い致します。